

弓張月春宵榮

國輝畫

四編下

中野曲風画

西馬譯

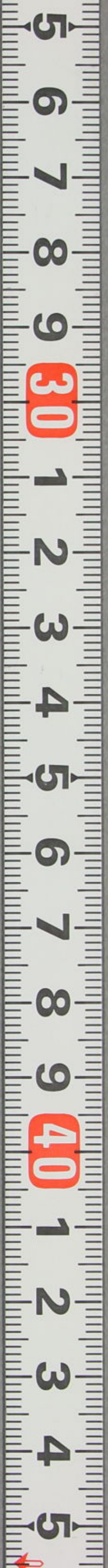
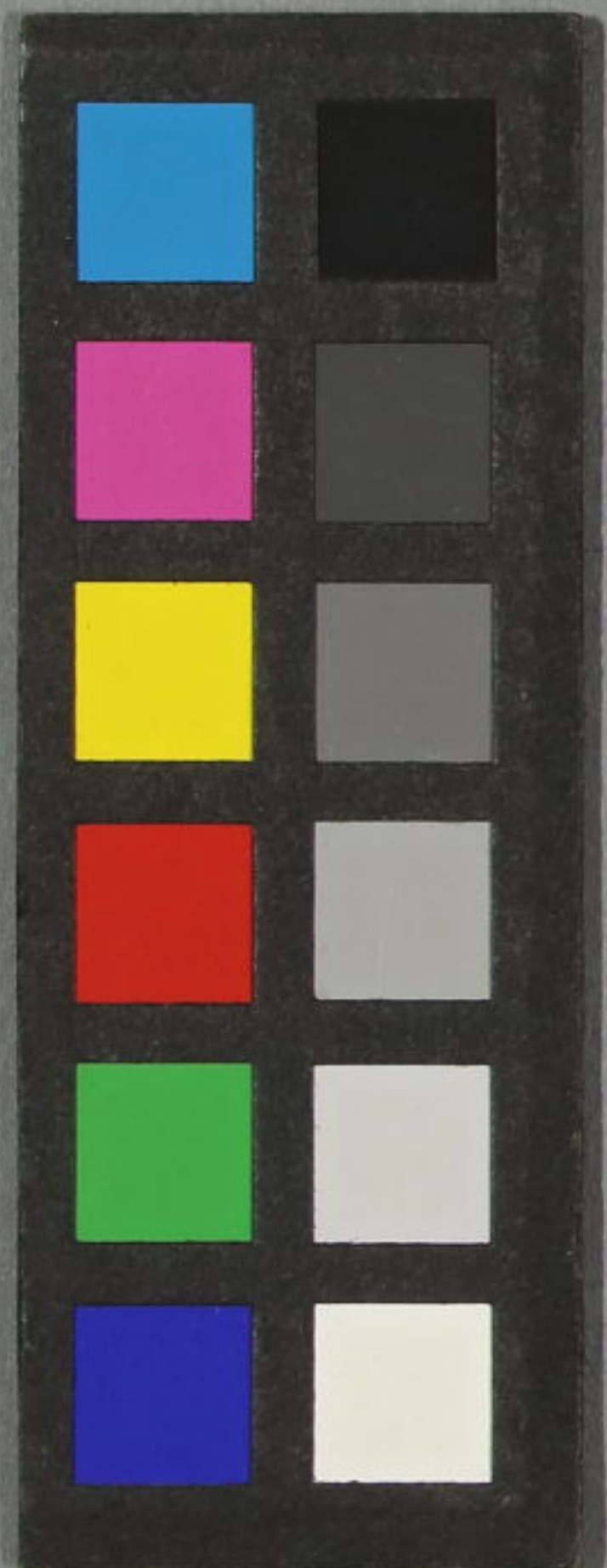
四編上

錦見文庫

13  
3693  
8

13  
3693  
7







四編壹

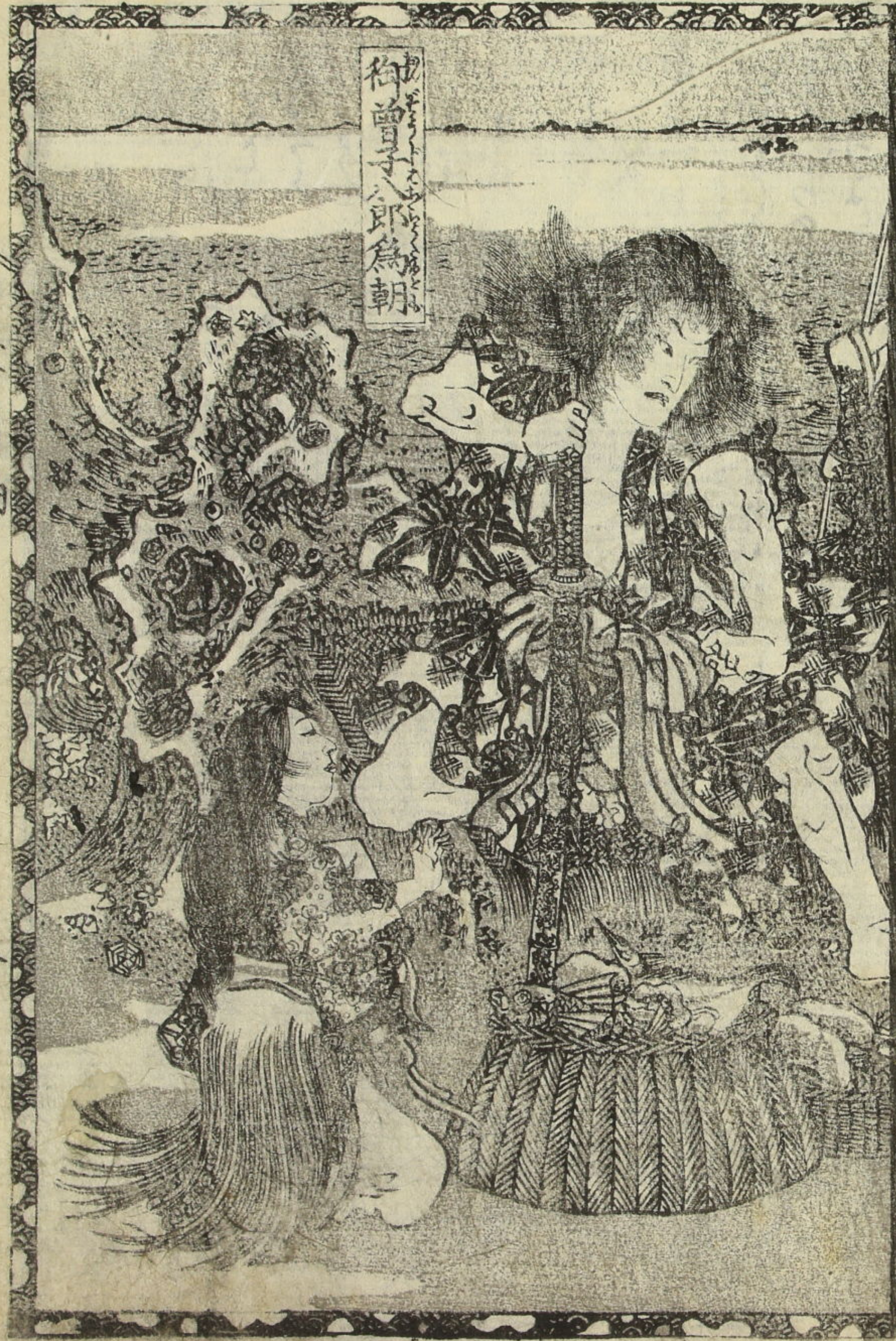


故式亭先生金龍山麓の産也實父菊池茂兵衛翁法名 喜樂を八丈嶋の産めり仕年の頃  
 東都小栗ヶ野工と業に其生長壽はと米の質と祝ひ九十余歳と保ちを孫の三馬  
 の許やと没と茂兵衛翁彼島八郎大明神社務菊池何某内縁ありて時々書言通音  
 信に及びの然る此秋僕本町庵へ往けり折節珍客ありて主と談話を拙側より  
 聞か入大の相言ありておび為朝大明神の開扉と人迎出府の由と譲が程ぬ  
 免許の札と建来を春两国向之開帳せむを文化由丑年深川富岡を開扉のハ  
 最三十五年の往昔とありし神八信ありて威威まをるに三歳の童家も崇尊せり  
 源家古今の英勇神との衆詣の群集せし事と爰に祝ひり將先哲妙作けり  
 の當りしと云ふ今發行の裨史弓張月も同年八三四の巻を筆とす  
 よう五六七編と跡生の頂追續と出板を賽路の御土産物と備へて價千金  
 榮四方の費乃りもさば賣出申候

嘉永四年辛亥初春

樂亭西馬誌





御尊  
郎為朝

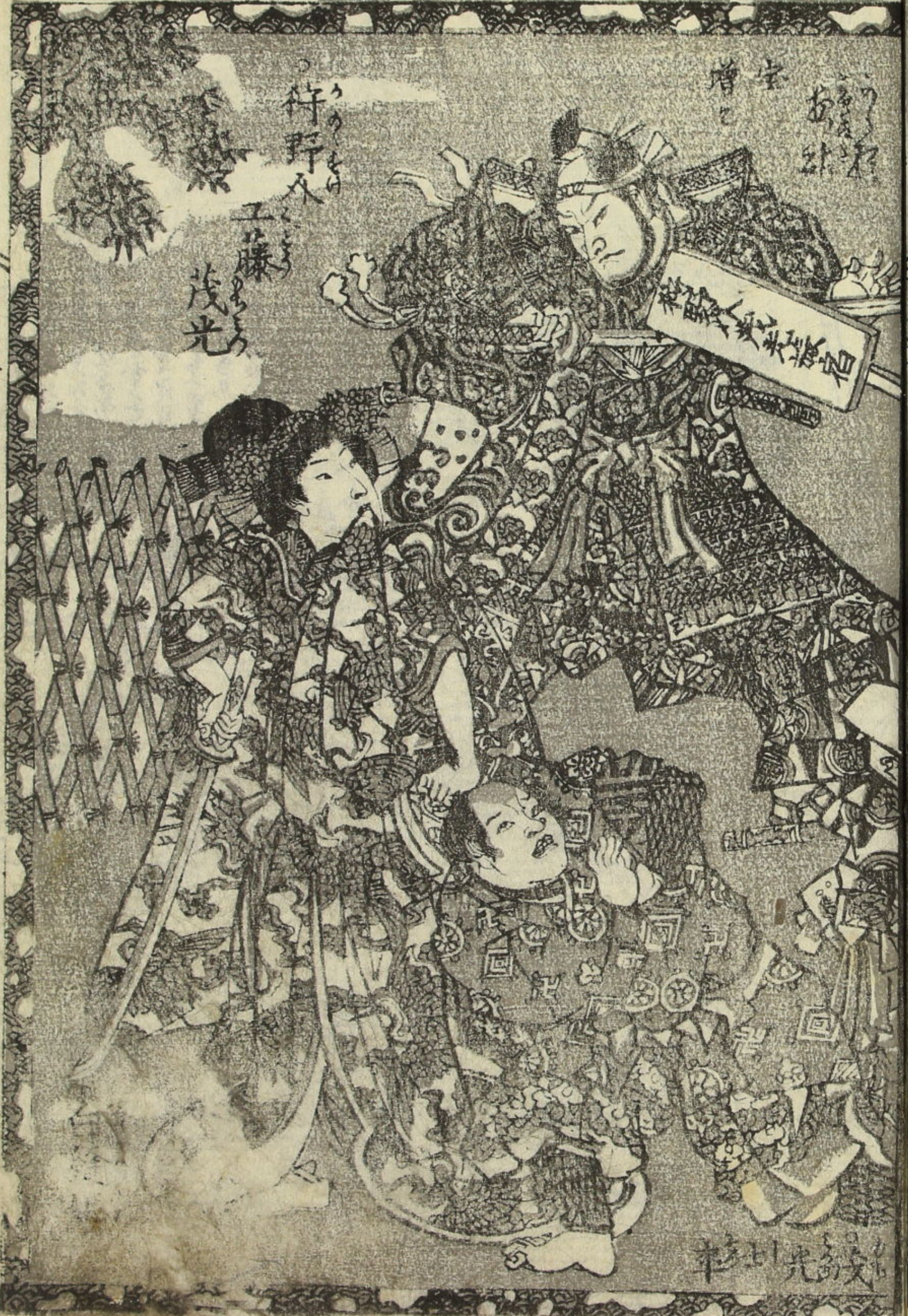


野の  
三郎  
長女

忠重  
娘江

大島  
三郎  
大

三月四日



三ノノチニクサノハナニシキ  
 目撃者ハシテモトトモトモ  
 ヲ八月ヨリニシテモトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ

〇ノノチニクサノハナニシキ  
 目撃者ハシテモトトモトモ  
 ヲ八月ヨリニシテモトトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ



〇ノノチニクサノハナニシキ  
 目撃者ハシテモトトモトモ  
 ヲ八月ヨリニシテモトトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ

八郎為朝

〇ノノチニクサノハナニシキ  
 目撃者ハシテモトトモトモ  
 ヲ八月ヨリニシテモトトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ



〇ノノチニクサノハナニシキ  
 目撃者ハシテモトトモトモ  
 ヲ八月ヨリニシテモトトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ  
 のち月ハシテモトトモトモ

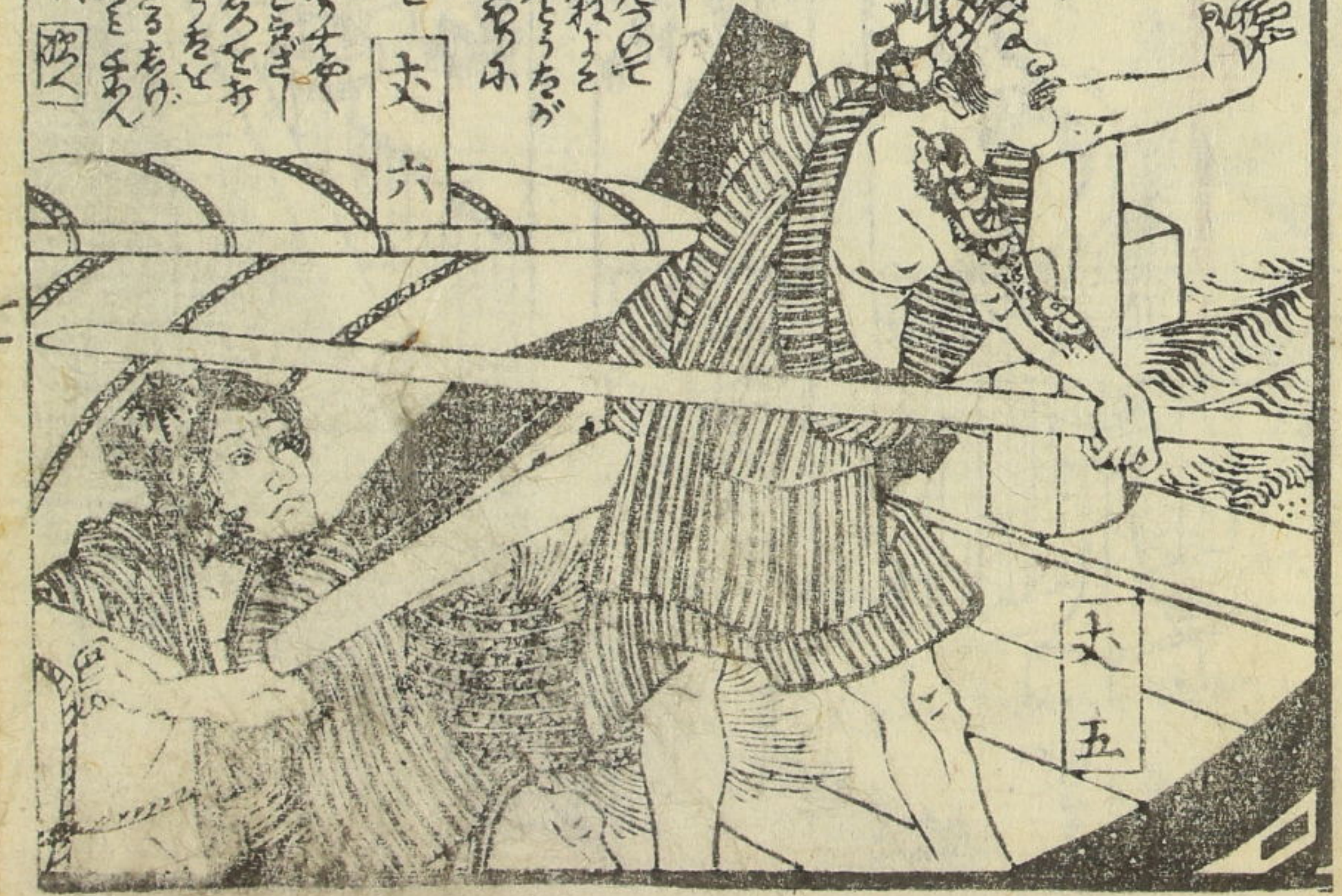






Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a list of names or items, located in the top section of the page.

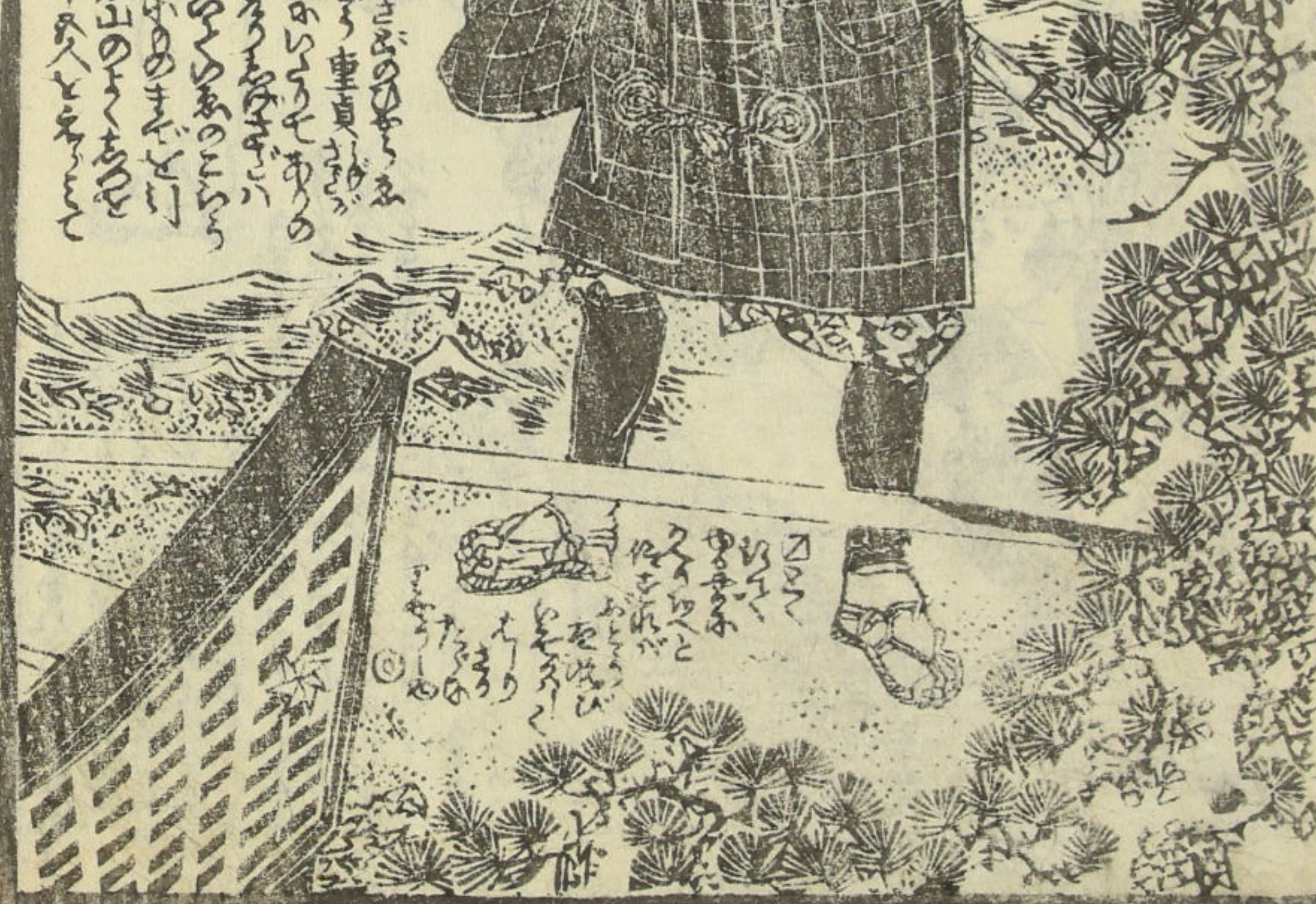
Vertical columns of handwritten Japanese text, continuing the list or notes from the top section.



舟六

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a list of names or items, located in the top section of the page.

Vertical columns of handwritten Japanese text, continuing the list or notes from the top section.



武藤大







百の人の  
わらわんと  
こころを  
こころを  
こころを

あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを

武藤太

あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを

あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを



あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを

白縫姫

あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを  
あまのこころを

嘉永八年乙卯新春彫目録

全地本草紙問屋  
笑壽屋庄七版

竹雀千代咲  
西馬補案  
國輝画圖

聖德太子  
大和鏡  
万亭應賀作  
一壽齊國貞画

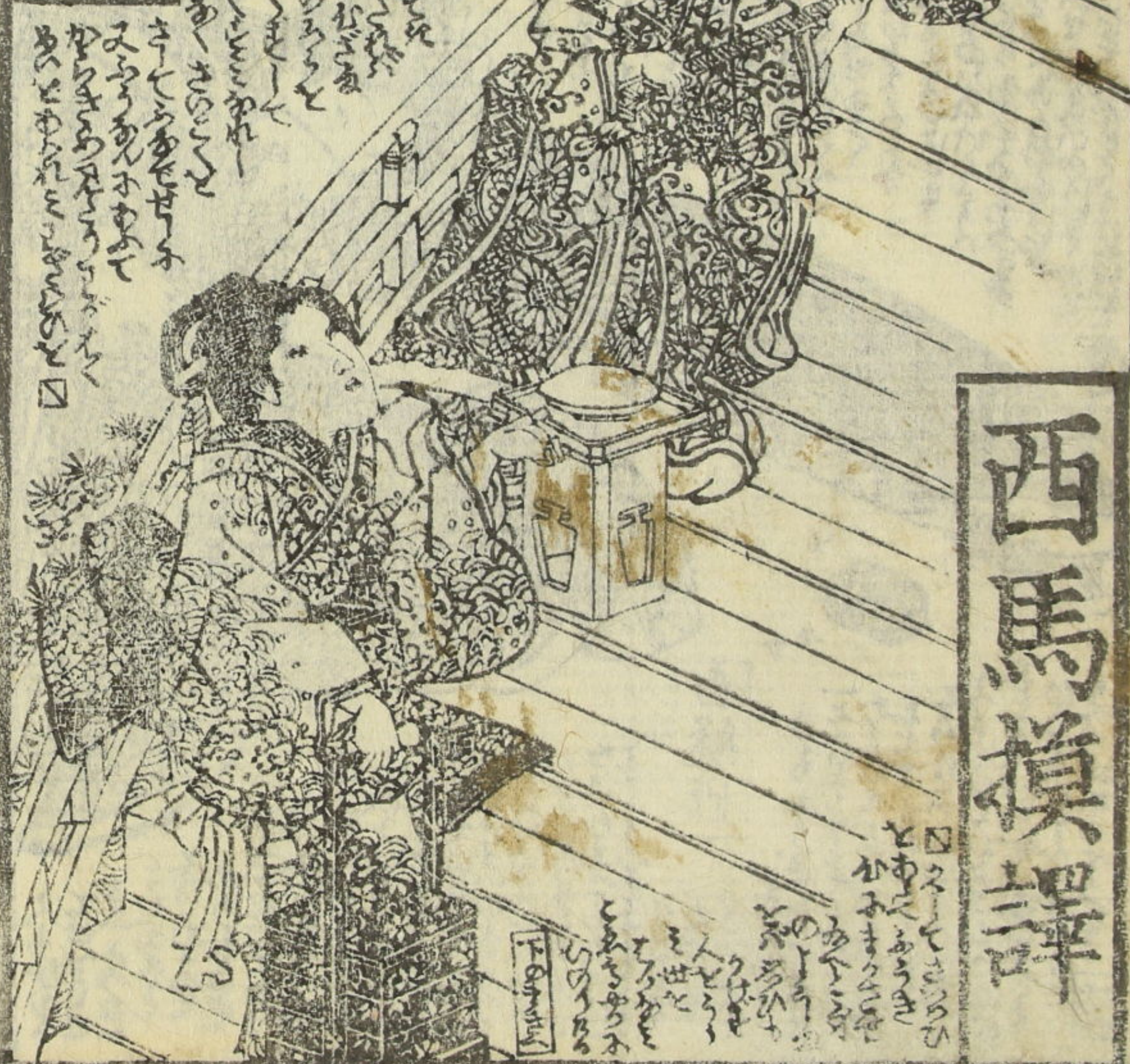
三鱗形  
鑲倉双糸  
西馬作  
國輝畫

雲龍九偷傳  
盜郎  
故人三馬遺稿  
增補西馬案  
画工一勇齋

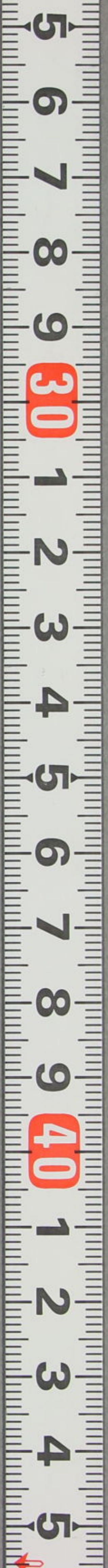
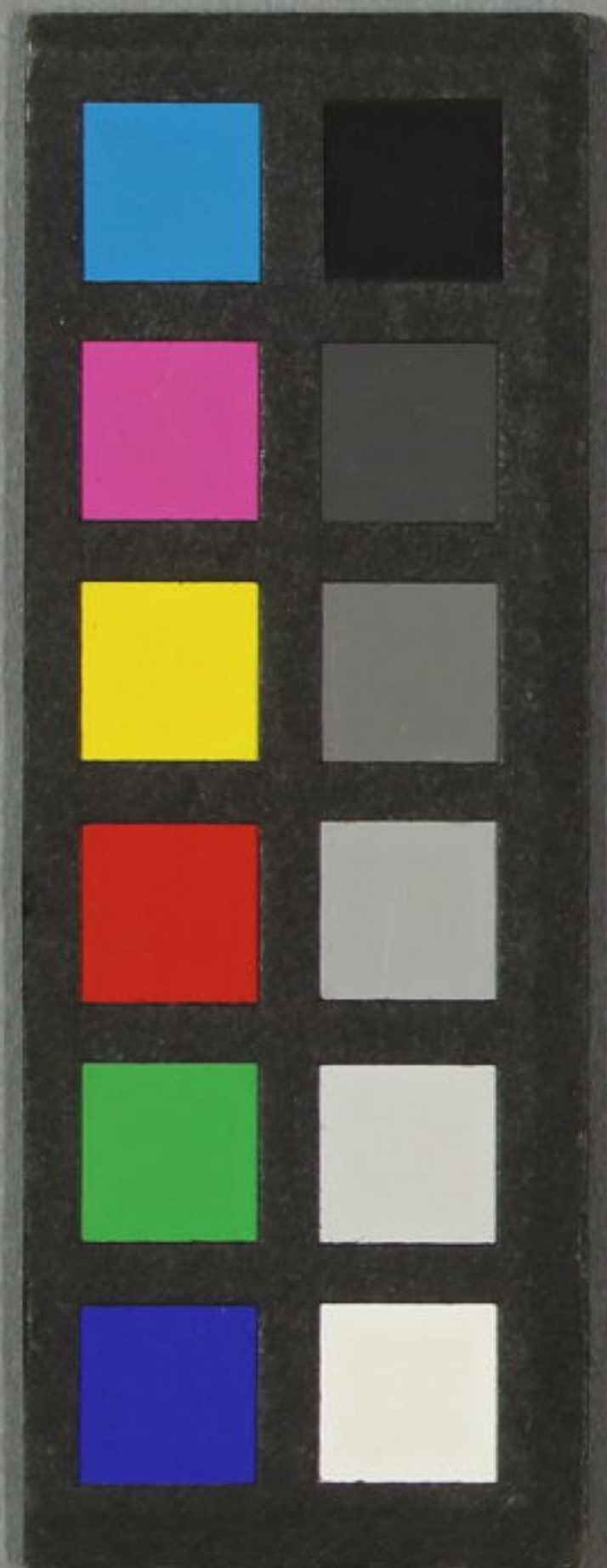
國輝画圖

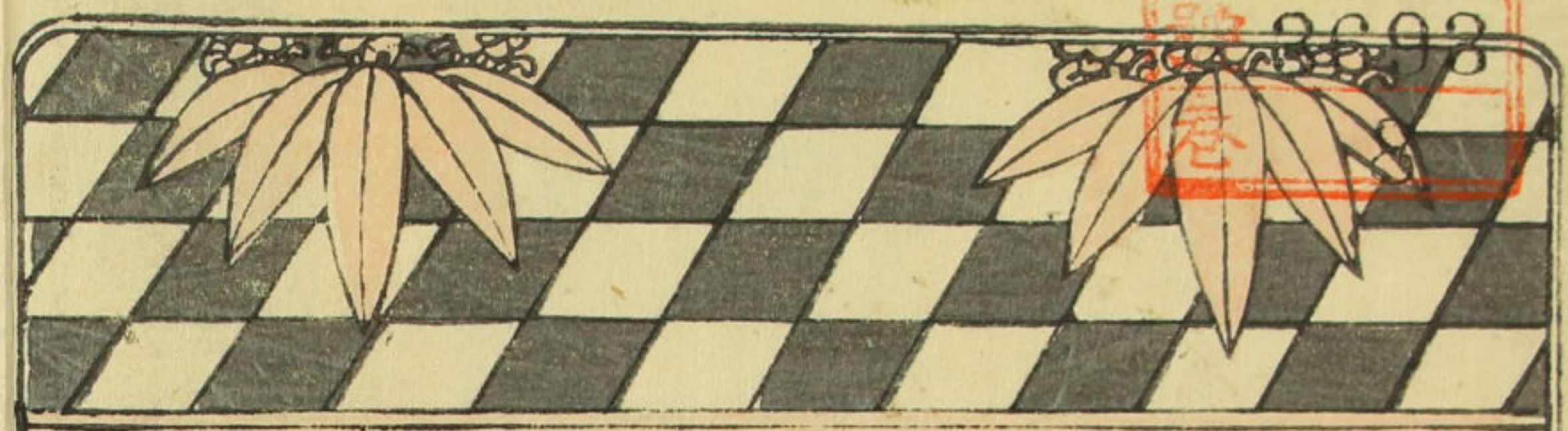
西馬模譯

此は西馬の模したるものなり  
其の意趣は如何なるに  
あらずや  
其の筆致は如何なるに  
あらずや  
其の色彩は如何なるに  
あらずや  
其の構図は如何なるに  
あらずや  
其の人物は如何なるに  
あらずや  
其の背景は如何なるに  
あらずや  
其の道具は如何なるに  
あらずや  
其の動作は如何なるに  
あらずや  
其の表情は如何なるに  
あらずや  
其の服装は如何なるに  
あらずや  
其の髪飾は如何なるに  
あらずや  
其の履物は如何なるに  
あらずや  
其の持ち物は如何なるに  
あらずや  
其の立ち方は如何なるに  
あらずや  
其の歩き方は如何なるに  
あらずや  
其の話し方は如何なるに  
あらずや  
其の動作は如何なるに  
あらずや  
其の表情は如何なるに  
あらずや  
其の服装は如何なるに  
あらずや  
其の髪飾は如何なるに  
あらずや  
其の履物は如何なるに  
あらずや  
其の持ち物は如何なるに  
あらずや  
其の立ち方は如何なるに  
あらずや  
其の歩き方は如何なるに  
あらずや  
其の話し方は如何なるに  
あらずや









奉 呈 覽

第四編  
下之卷  
樂亭  
鈔譯  
一雄齋  
画圖  
錦昇  
所庫  
嘉永  
寺春

Vertical columns of handwritten text in a cursive style, likely a preface or commentary.



武蔵太

Additional handwritten text at the bottom of the page, including a small signature box.

















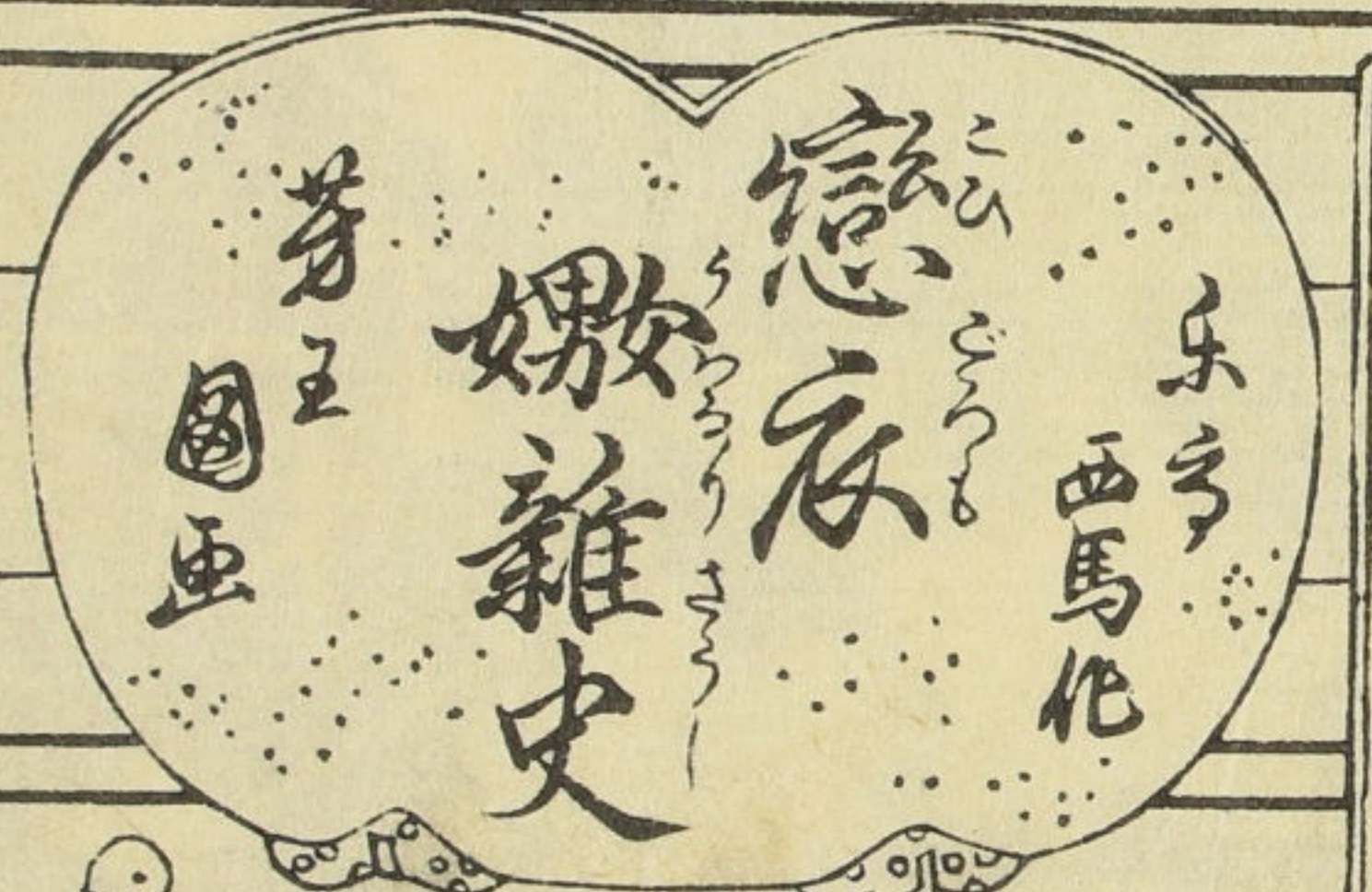
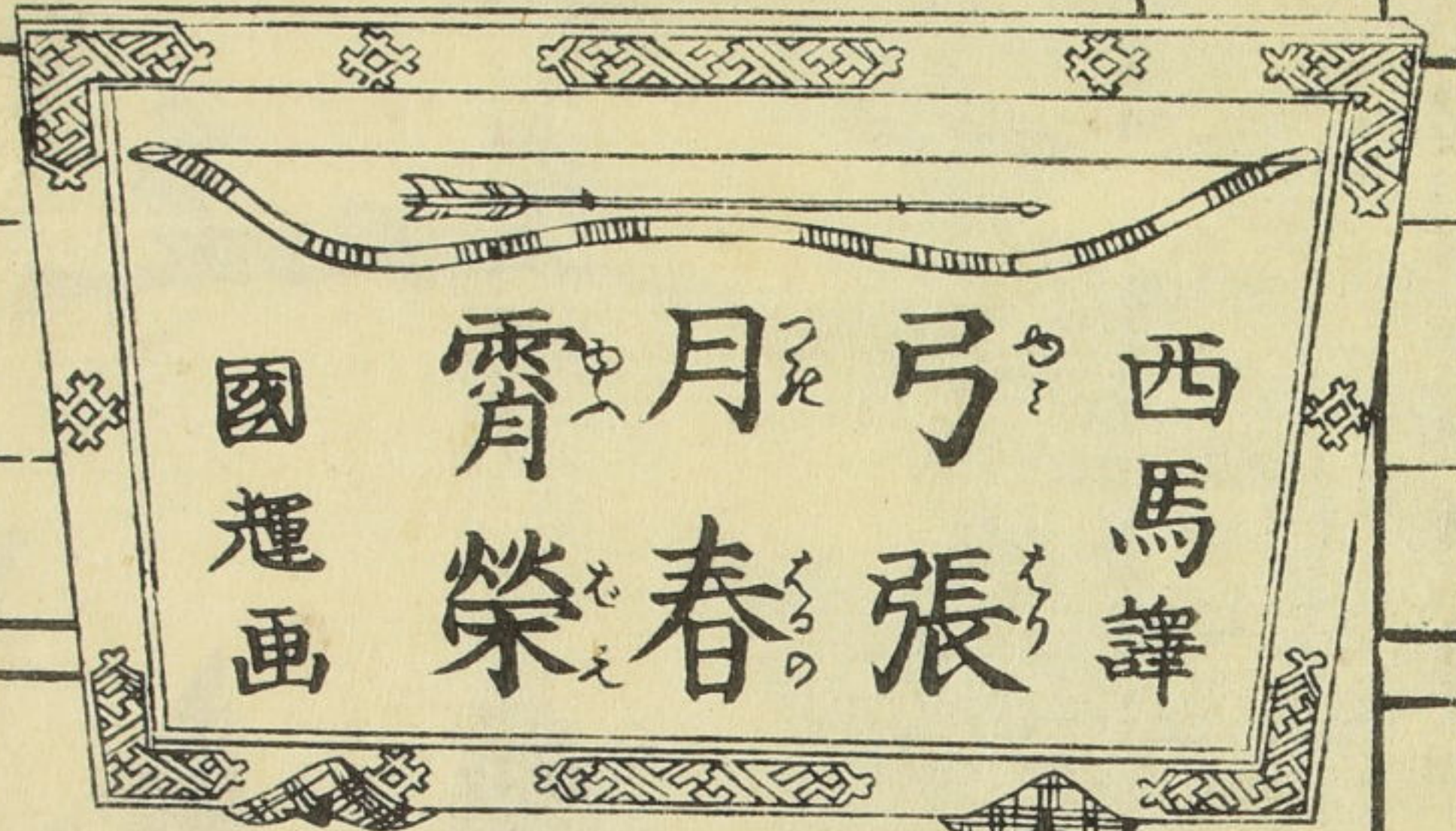




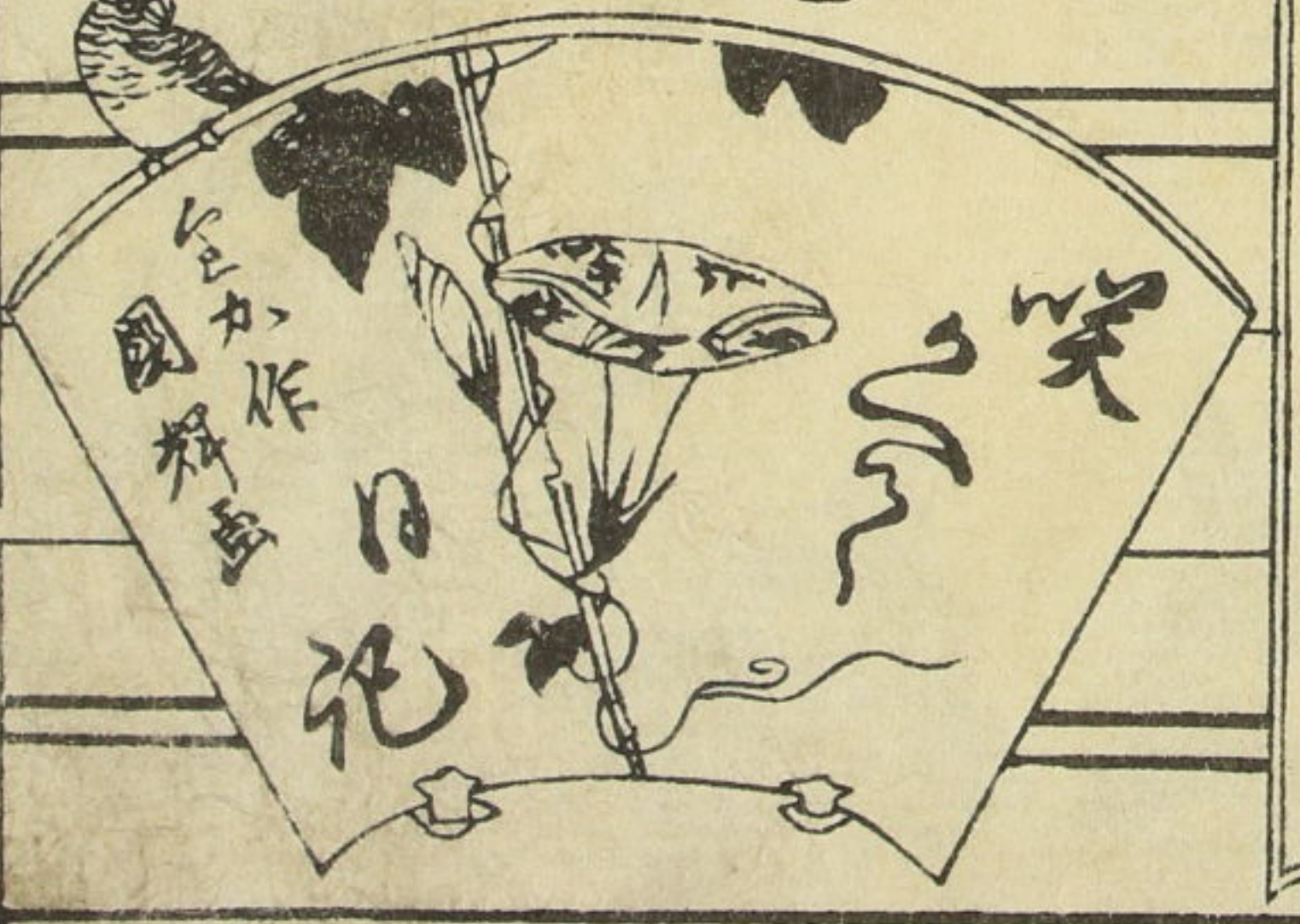


錦昇堂新發行目錄

東錦繪草紙問屋  
照降町  
惠比壽屋庄七梓



小夜衛白波草紙  
仙果作  
芳希画



一雄齋國輝画

樂亭西馬模譯

○此は、西馬の模したるものなり。其の原画は、一雄齋の國輝画なり。其の趣意は、大に人情あり。其の筆致は、大に力あり。其の色彩は、大に麗し。其の構圖は、大に巧み。其の人物は、大に多し。其の動作は、大に活潑なり。其の表情は、大に豊満なり。其の服装は、大に華やかなり。其の背景は、大に簡潔なり。其の全体は、大に統一なり。其の精神は、大に爽快なり。其の趣味は、大に高尚なり。其の格調は、大に優雅なり。其の風格は、大に雄渾なり。其の神韻は、大に飄逸なり。其の氣韻は、大に磅礴なり。其の風采は、大に淋漓なり。其の神態は、大に昂揚なり。其の情韻は、大に纏綿なり。其の風致は、大に儒雅なり。其の神韻は、大に飄逸なり。其の氣韻は、大に磅礴なり。其の風采は、大に淋漓なり。其の神態は、大に昂揚なり。其の情韻は、大に纏綿なり。其の風致は、大に儒雅なり。

